

長い未来

未来に生きる

昭和四十年十二月八日、  
新潟県立清水

東高専学校にて

未来は長い未来をもっている——どんなに長い未

来か、あ、そうか、その間に世の中はほとんど変わらな

うか——そういうことを皆えは忘れて見ることがあ

りか——二十世紀という言葉を、さういふ事、つか

い、皆々の大いなる二つ世紀を生きつづけること

しよう——若から若い人の前途は洋にまかして

C021-130-050-010  
[Z06 100 T65-1(MT)]

未来の  
進化

(2)

いう表現が多くなつたに——これはもうその前世紀  
 どうあるべきか——近代の苦い念現世的になつた  
 とよく言う——その意味はつ——現世がそのま  
 らづくとして、未来をその、それから現在へ進む  
 して行く——近世、近世、近世——流念社、大正物  
 考案の、中世、小世、却世——そういう進歩の  
 果して現世的な、——社会は何か——世の中  
 へ進んで行く——二十世紀の——百年で大き  
 らかたつた——進化の速さは速くなつて来た——未来  
 の三、四十年の進化は大きい——進歩の——何の

未来の  
人々の  
ため

力が変わるのか — 社会の力か — 人間の力

— 科学の進歩とそれが社会に与える影響 —

科学の進歩はもたらす利便の増加は、同時に

ついでに — 環境問題、未来の世代は科学の進歩

を如何に活用して — 科学の進歩は人間の

生活にどう影響するかと、この問題

がある。 — 人間の責任は何かある

— 自分自身の世代の責任にどうあてはまるか

— どうせ自分だけ — 責任をどう人にも

に世の中をどう変えていくか — 責任をどう

責任をどう

(4)

学習  
と格闘  
え

のゆえ

世間の力——現象主義と理想主義——理

念主義の方がかえって現象的——若年層はか

かしい、その点その点、若くして遠くをめぐりて満足

するものもおおしい——世間の満足、本書の生きた

いはゆるらびしい——理想を實踐しようとする

ことには生かすかいはあつたといふ印してよくも

い

学習のよちこびの中にも生かすかいはあつた——実践

の目的の勉強でよく、わかつたことをわかつた

いと怒って存続する——わかつたことの喜び——学習

学習研究社





